

EcoNiPass

企業価値向上をサポートするEcoNiPassの活用について

会社概要

WingArc **1ST**

The Data Empowerment Company

商号	ウイングアーク 1 s t 株式会社 (英文表記: WingArc1st Inc.)
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー
創業	2004年3月
資本金	11億9,981万円 (2024年2月末現在)
事業内容	ソフトウェアおよびサービスの開発・販売
決算期	2月
売上高	257億円 (2024年2月末)
従業員数	連結881人 / 単体776人 (2024年2月末現在)

事業領域

ビジネスドキュメント

データエンパワーメント

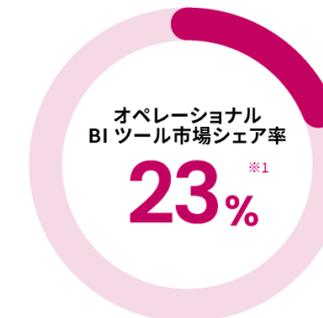
帳票市場国内シェアNo.1



累積導入社数 **35,000社**以上※

出典: 株式会社デロイトトーマツミック経済研究所
「帳票設計・運用製品の競合調査2023年度版」
(帳票運用製品)

BI市場国内シェアNo.1



累積導入社数 **9,700社**以上※

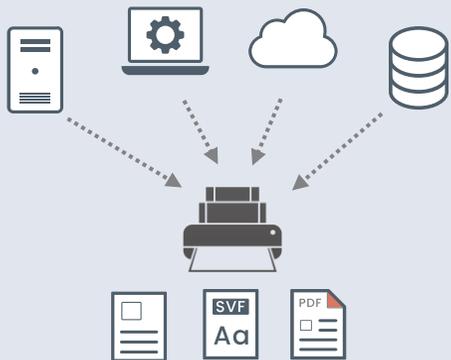
出展: 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年
版」BIツール・2022年度実績を基に当社独自に推計

※日経コンピュータ 2023年8月31日号 顧客満足度調査
2023-2024データ分析・利活用支援ソフト/サービス部門 1位

ビジネスドキュメント事業



総合帳票基盤ソリューション



ノンストップ帳票運用
※オンプレミス・クラウド選択可



電子帳票プラットフォーム



電子取引/電子契約

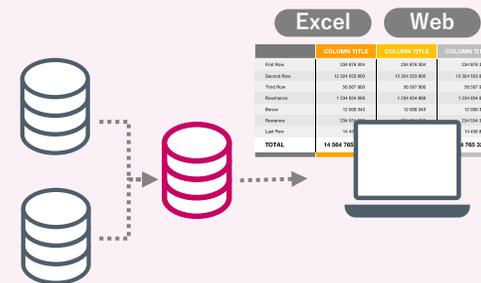


商取引の文書の電子化・効率化
※オンプレミス・クラウド選択可

データエンパワーメント事業



データ分析基盤



分析の思考を止めない高速集計
※オンプレミス・クラウド選択可



BIダッシュボード



見える化からアクションへ
※オンプレミス・クラウド選択可



データプレパレーションを統合した
データ分析基盤

dejiren

クラウドサービスを自由に繋ぐチャット型iPaaS（バーチャルアシスタント）

カーボンニュートラル 業務とは？

カーボンニュートラル業務(1/4)

EcoNiPassは、CO2排出量可視化プラットフォームです。

削減に向けた**見える化を実現**し、削減に向けた計画立案支援、削減施策の実行までトータルでサポートしていきます。

ヒト・モノ・カネ・情報を包括する形で**環境という軸**を社内で持ち経営判断をしていく必要がある。

現状把握
(見える化)



CO2排出量算定



削減ポテンシャル診断



シナリオ分析・戦略立案

削減計画策定
(わかる化)



ロードマップ策定
削減ポテンシャル診断
管理・削減範囲の決定



排出量見える化
(運用)

実行(排出量削減)
(現場最適化)



調達・機器改善



CO2排出量管理



業務プロセス改善

事業運用
(事業・経営最適化)



請求書・納品書連携や
販売/会計データとの掛け合わせ



会計ソリューション
調達/生産データとの連携

領収書や請求書に記載されているエネルギー使用量をデータ化する必要があります。

データ化

① エネルギーの請求書や利用データをご用意



② フォーマットファイル (Excel) にデータを転記

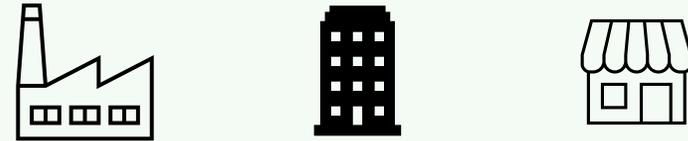


③ 保存

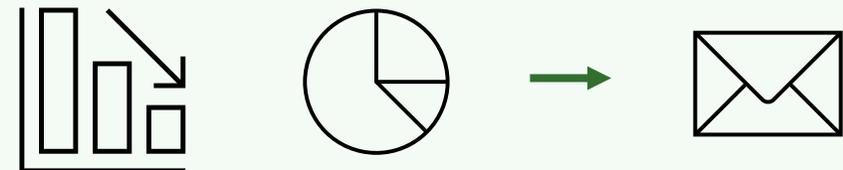


Excelでの集計

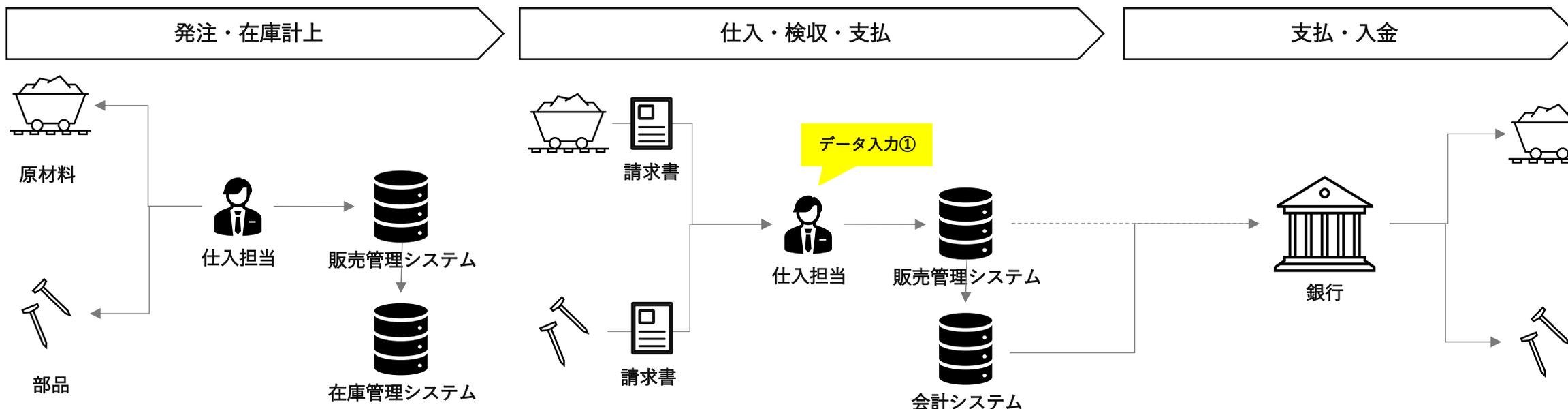
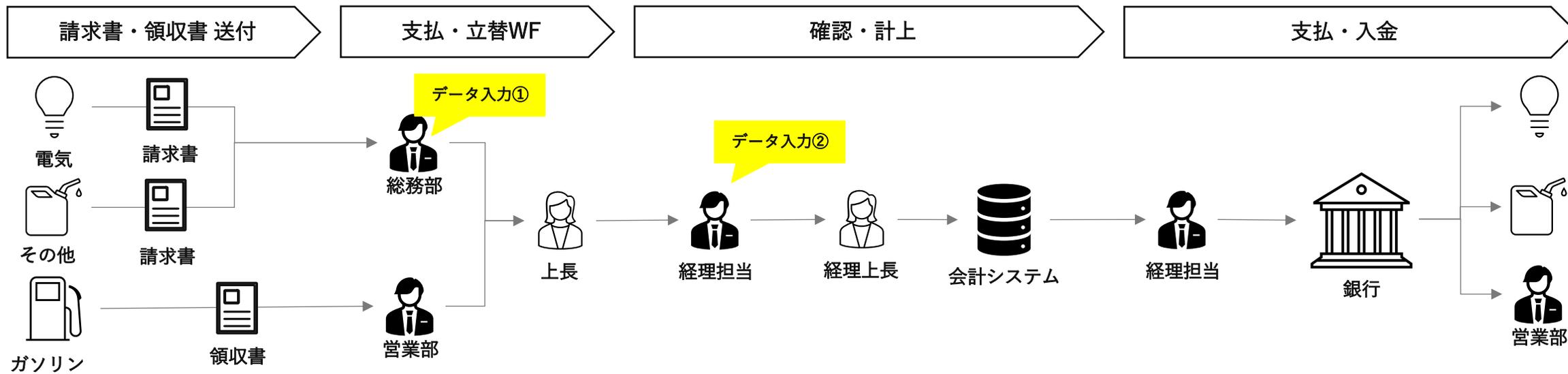
④ 拠点/店舗のデータの集計



⑤ データの可視化/分析 & 報告



ご参考：データ化業務詳細



カーボンニュートラル業務(3/4)

削減計画策定
(わかる化)

実行(排出量削減)
(現場最適化)

- 削減施策はコストをかけて実施するものとコストをかけずに行うものなどで大きく分けることができます。
- 以下の観点をもとに総合評価していただき、ROIの高い施策を実行し削減をしていくことをお勧めいたします。

CO2排出量削減施策と評価方法

削減施策	削減効果	初期投資	運用コスト	実現期間	人件費	難易度	品質	担当部門	総合評価
〇〇	○	5,000,000	100,000	6ヶ月	1人	中	無	総務	A
〇〇	◎	1,000,000	300,000	1年	3人	高	良	生産	B
〇〇	△	0	0	1ヵ月	1人	低	無	総務	B
〇〇	△	0	0	3ヵ月	3人	低	無	営業	B
〇〇	△	0	0	2ヵ月	1人	低	無	生産	B
〇〇	△	0	0	6ヵ月	2人	低	無	業務	B
〇〇	△	0	0	9ヵ月	3人	低	無	生産	B

カーボンニュートラル業務(4/4)

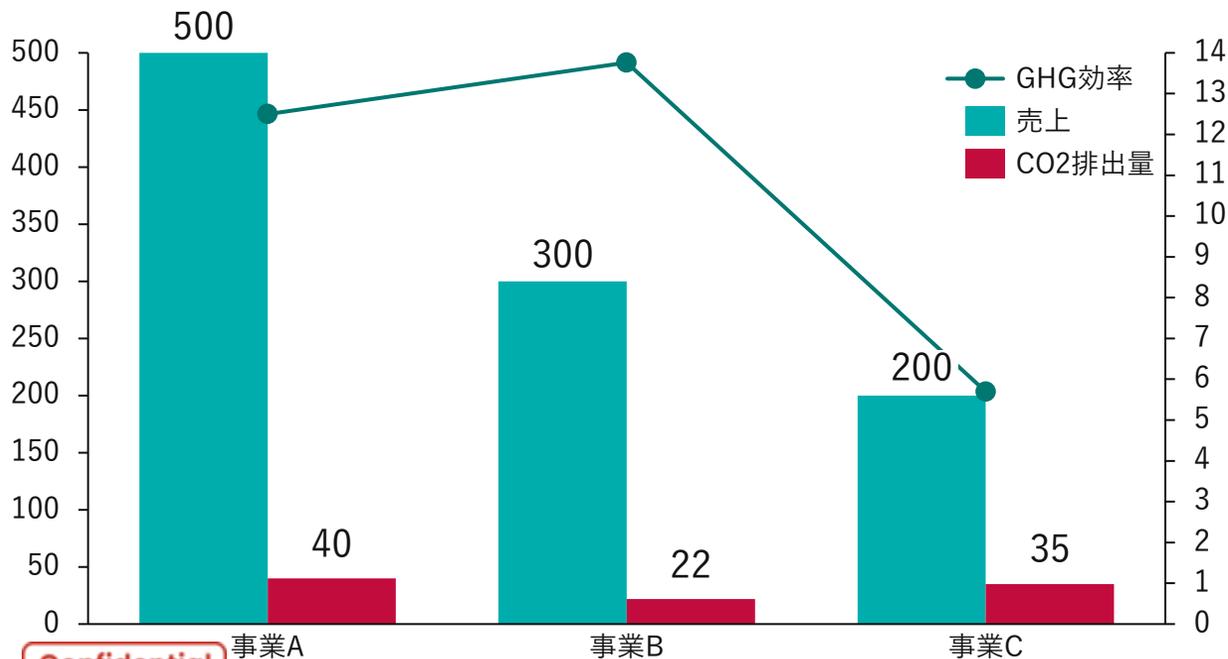
事業運用
(事業・経営最適化)

脱炭素に視点を置くのではなく経営視点で計画を作り現場へ落とすことが大切

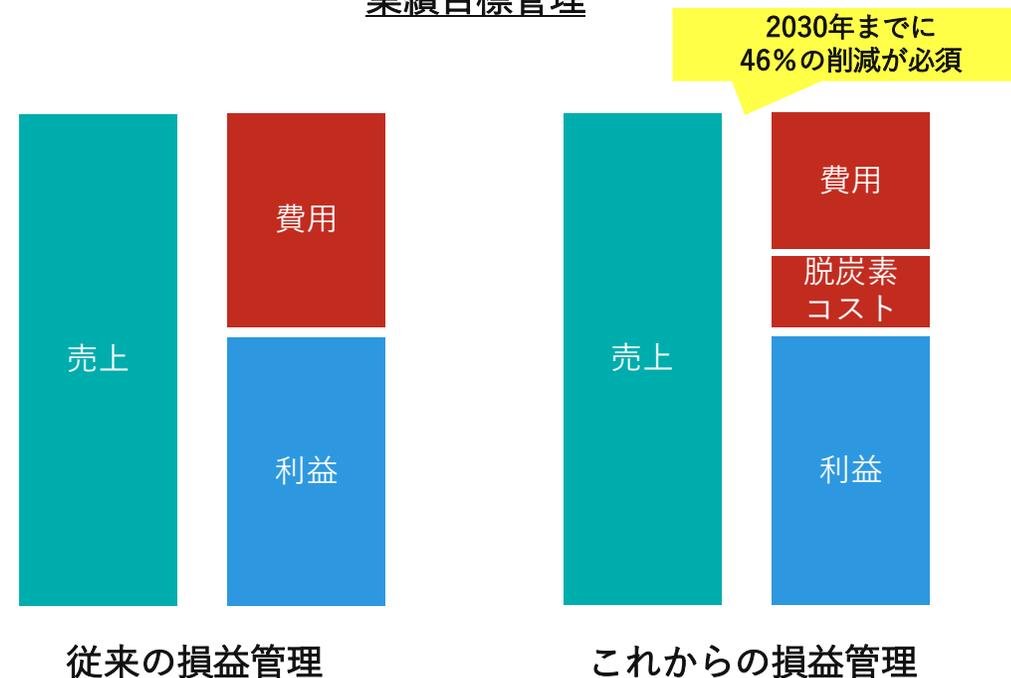
- 脱炭素に取り組む際、コストとは切っても切り離せないため、経営陣との認識合わせが必要です。
- コストに加えCO2排出量を係数として用いることで、脱炭素経営するための判断材料になって参ります。

$$\text{GHG効率} = \frac{\text{社会的価値 (売上/利益/生産数など)}}{\text{CO2排出量}}$$

GHG効率を用いた事業分析例



業績目標管理



ヒト・モノ・カネ・情報を包括する形で環境という軸が必要

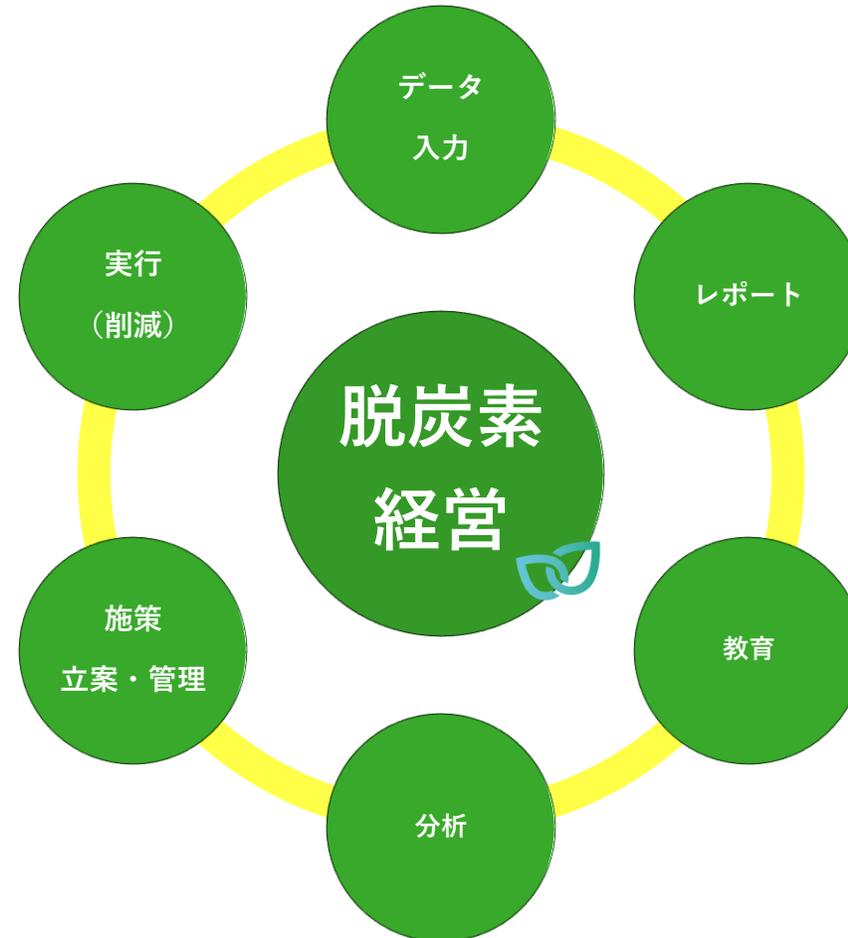
EcoNiPassによる 認証取得 & 維持

WingArc1ST
The Data Empowerment Company

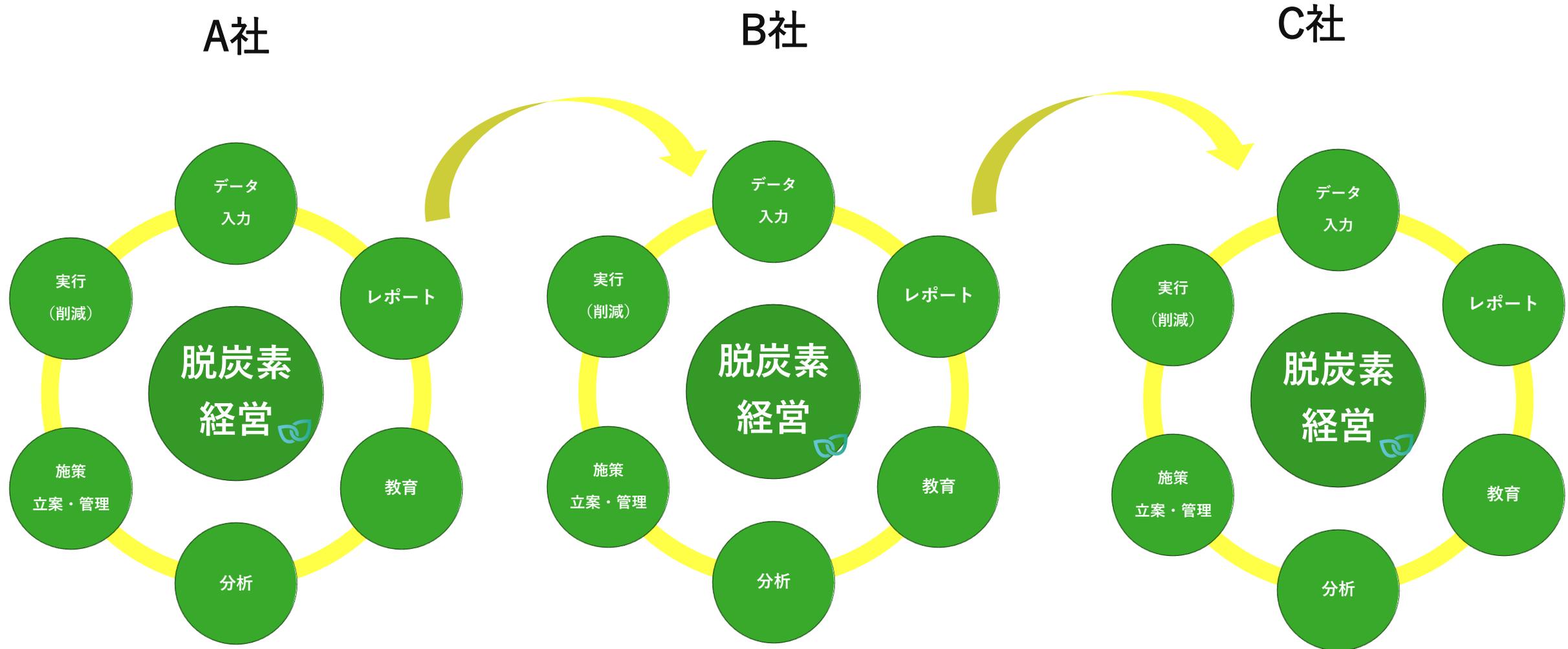
Copyright © 2024 WingArc1st Inc. All Rights Reserved.



脱炭素経営を1つに。そして手軽に。



企業間連携をシンプルに。



EcoNiPassは請求書などのデータを管理画面にアップロードするだけで、簡単に可視化ができます。

STEP 01 | データの準備

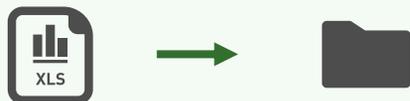
① エネルギーの請求書や利用データをご用意



② 専用フォーマットファイル (Excel) にデータを転記

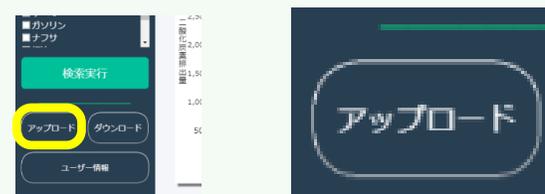


③ 専用フォーマットファイル (Excel) を保存

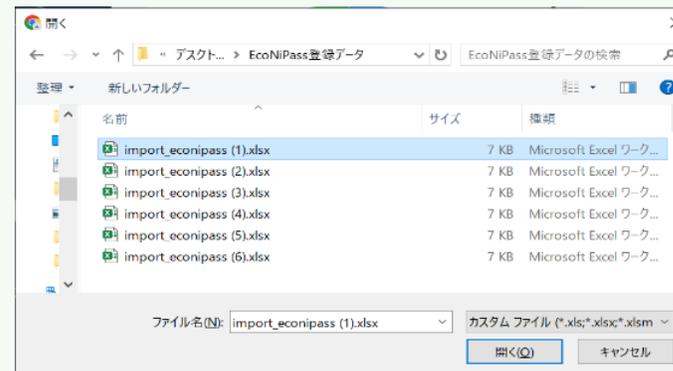


STEP 02 | アップロード

④ EcoNiPassのアップロードボタン



⑤ 専用フォーマットファイル (Excel) を選択



CO2排出量の算出・可視化

CO2排出量の算出/可視化がテンプレート化

EcoNiPassの管理画面では、見たい情報を詳細検索が可能です。
排出源ごとや原単位ごとの排出量や、削減情報を細かく見える化できるようになっています。

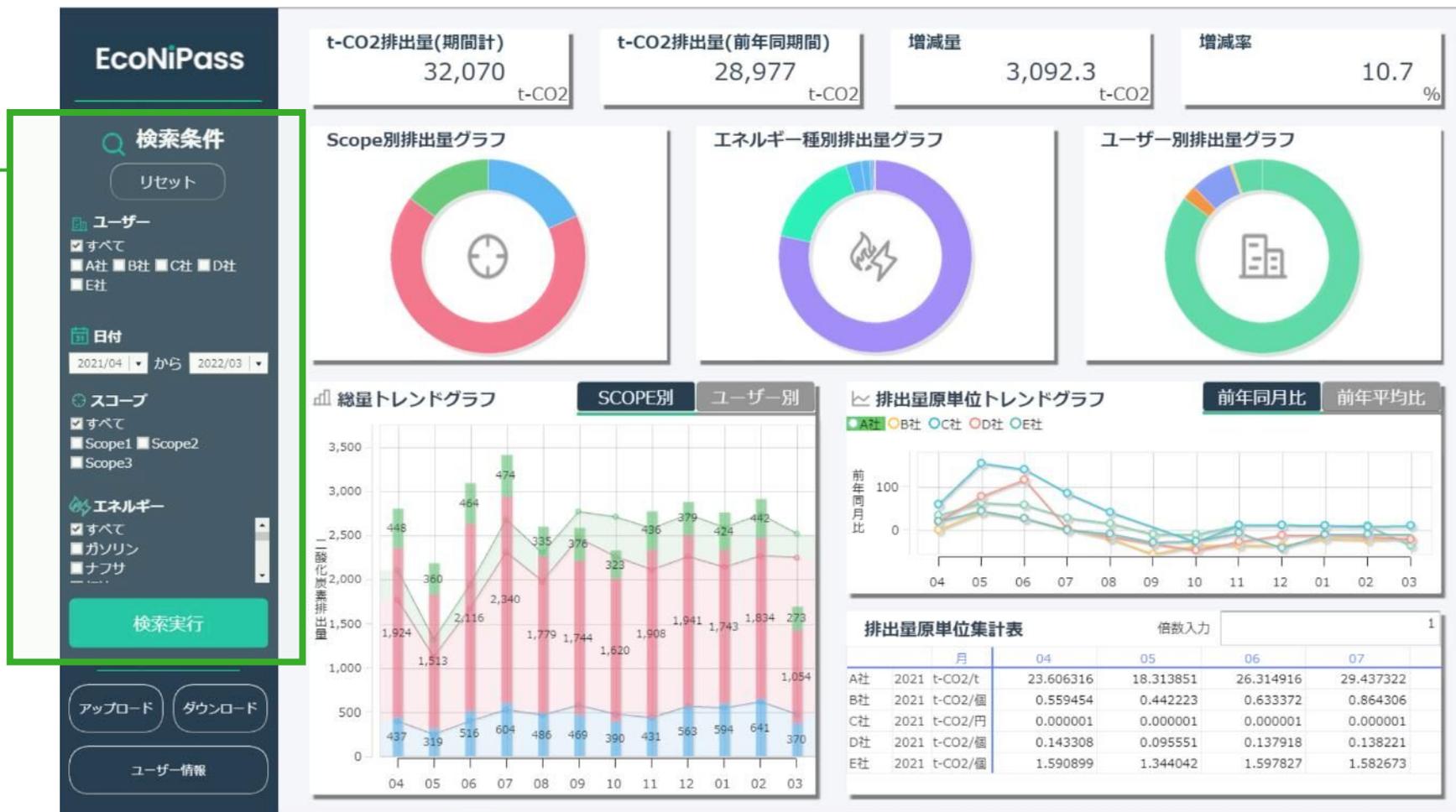
① 検索メニューで見たい情報が見える

ユーザー選択

期間指定

Scope選択

エネルギー選択



目標値の設定

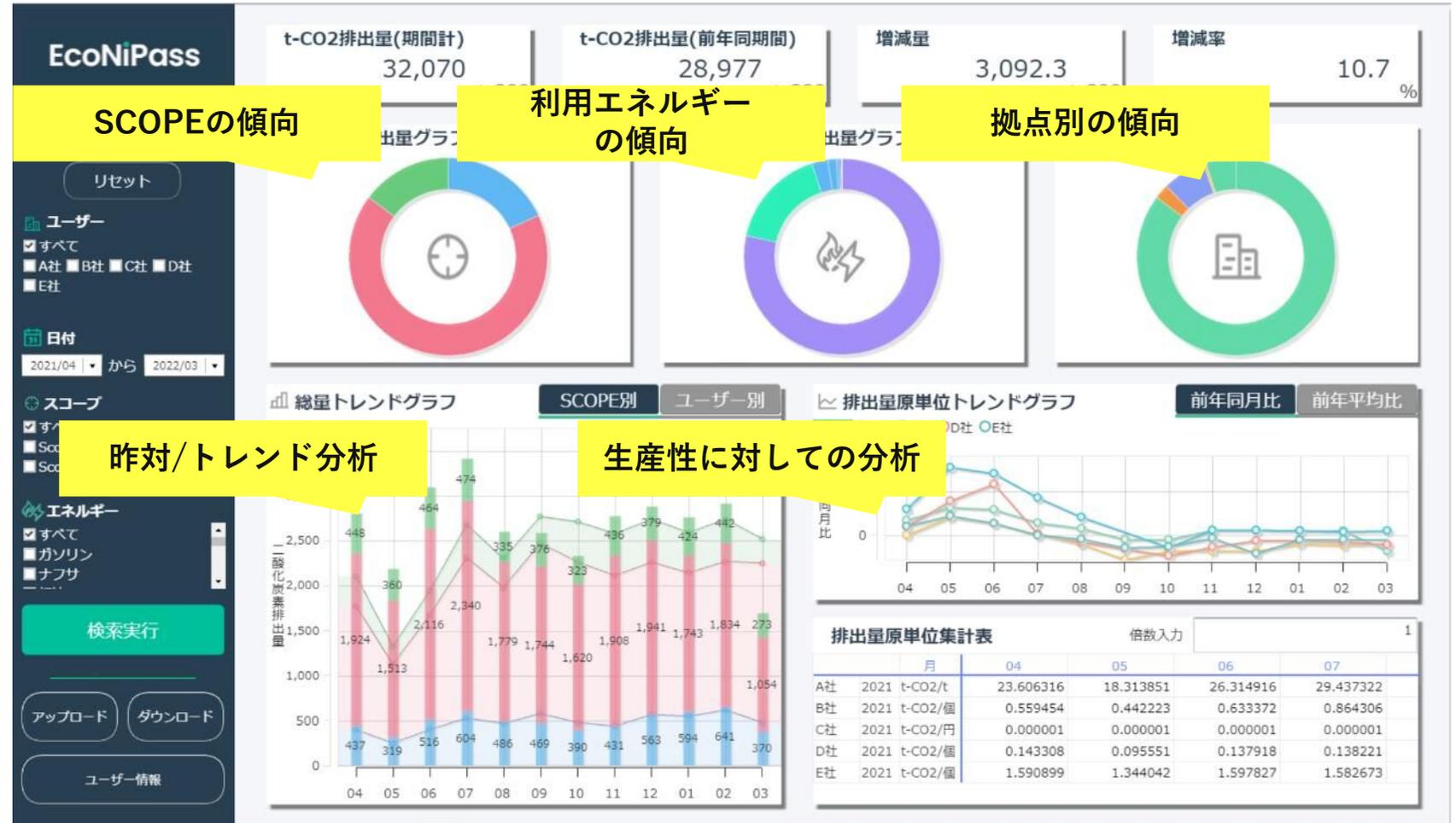
基本的には2013年度のCO2排出量を求め、2030年までに46%削減を目指していく必要があります。
まずは、貴社にて目標値を設定いただく必要がございます。

2013年度実績確認

2030年度までの
目標設定

SCOPE、エネルギー、傾向分析

施策立案



施策立案 & 管理①

まずは、どのような施策があるのか、全社レベルで洗い出す必要がございます。
各部門とコミュニケーションを取りながら施策を決めていく必要があります。

CO2排出量削減施策と評価方法

削減施策	削減効果	初期投資	運用コスト	実現期間	人件費	難易度	品質	担当部門	総合評価
再エネ購入	○	0	300,000	1ヵ月	－	低	影響無	総務	A
機材 リプレイス	◎	10,000,000	500,000	3年	3人	高	影響有	生産	A
社用車の契約変更	△	1,000,000	1,000,000	6ヶ月	－	低	影響無	総務/営業	B
オフィスビル電気 間引き	△	0	0	1ヵ月	3人	低	影響無	総務	C
空調リプレイス	○	5,000,000	0	3ヵ月	1人	低	影響無	総務	B
太陽光パネル設置	◎	30,000,000	200,000	6ヶ月	2人	中	影響無	総務	B
オフセット購入	○	3,000,000	0	6ヶ月	2人	低	影響無	総務	C

施策立案 & 管理②

次に、優先度をつけていく必要があります。

また、どの程度削減ができるのかをシミュレーションしていく必要があります。

CO2排出量削減施策と評価方法

削減施策	削減効果	初期投資	運用コスト	実現期間	人件費	難易度	品質	担当部門	総合評価
再エネ購入	○	0	300,000	1ヵ月	－	低	影響無	総務	A
機材 リプレイス	◎	10,000,000	500,000	3年	3人	高	影響有	生産	A
社用車の契約変更	△	1,000,000	1,000,000	6ヶ月	－	低	影響無	総務/営業	B
空調リプレイス	○	5,000,000	0	3ヵ月	1人	低	影響無	総務	B
太陽光パネル設置	◎	30,000,000	200,000	6ヶ月	2人	中	影響無	総務	B
オフセット購入	○	3,000,000	0	6ヶ月	2人	低	影響無	総務	C
オフィスビル電気 間引き	△	0	0	1ヵ月	3人	低	影響無	総務	C

施策立案 & 管理③

部門横断で施策やタスクを進めていくのは煩雑になりがちです。

しっかりと、タスク・期日を落とし込み、活動履歴を登録しておくことで、無駄なく施策を進捗していくことが可能です。

CO2排出量削減施策と評価方法

削減施策	削減効果	初期投資	運用コスト	実現期間	人件費	難易度	品質	担当部門	総合評価
再エネ購入	○	0	300,000	1ヵ月	-	低	影響無	総務	A



部門	担当様	タスク名	期日
総務部	田村	調査および見積取得	2024/10/30
営業部	水島	バーターの可否判断	2024/11/30
経営企画/経理部	鈴木	予算化および取締役稟議	2024/12/30
購買部	田中	発注	2025/1/30



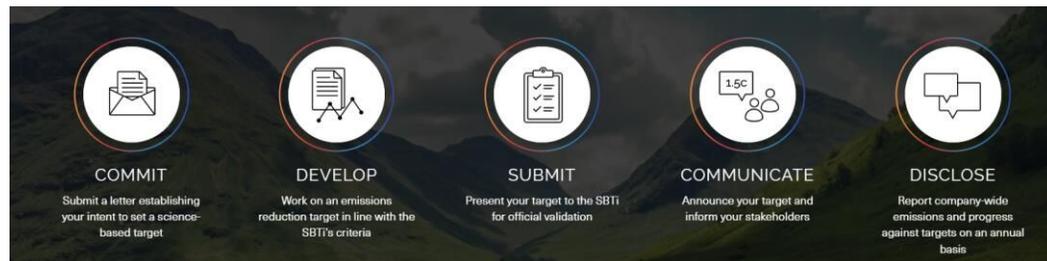
日付	担当様	活動内容
2024/9/13	田村	A社ヒアリング ○○だった
2024/9/14	田村	B社ヒアリング ○だった

全社マネジメントが
必須

認証サービス(SBTi,TCFD,GXリーグ,ISOなど)

専門家が伴走し分析/目標設定、資料作成支援、審査、開示/維持におけるプロセスを支援いたします。EcoNiPassでドキュメントや目標設定ができるよう開発中。

SBTi



出典：SBTi公式サイト
<https://sciencebasedtargets.org/>

- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- テンプレート提供
- 計算基礎提供
- 企業の行動に対するハンズオン支援
- コミュニケーション補助
- 計算根拠などのリソース提供

項目	中小企業向け	通常
対象	非子会社・独立系企業 10,000t-CO2/年以下に加え 250名以下 売上50百万ユーロ 総資産25百万ユーロ 森林・土地利用事業社などでない	特になし
目標年	2030年	申請から5年～10年（任意）
基準年	2018年～2023年（選択）	最新データが得られる年での設定を推奨
削減対象範囲	SCOPE1,2,3 SCOPE3は目標無し	SCOPE1,2,3 SCOPE3が4割を超えない場合設定無し
目標レベル	SCOPE1,2 1.5°C：少なくとも年4.2%削減	SCOPE1,2 1.5°C：少なくとも年4.2%削減 Well below 2°C：少なくとも年2.5%削減
SBT申請費用	1目標につき1,250 \$	目標妥当性確認サービス：9,500 \$ 目標再提出は、1回4,750 \$
承認までのプロセス	目標提出後、提出情報の内容確認ごに承認されSBTi Webサイトに掲載	目標提出後、事務局による審査が行われる

中小企業版

**SBTi認証支援
50万円**

通常版

**SBTi認証支援
100万円～**

※申請時に必要な費用は別途かかりますのでご注意ください

EcoNiPassの料金プラン

シンプルな2つのプランです。各拠点やサプライチェーンと情報連携して利用する際にはプライマリプランをご利用いただき、自社のCO2の可視化や各拠点の契約には、セカンダリプランをご利用いただいています。

EcoNiPass標準 プライマリプラン

利用料金（月額相当）

4,800円（税別）

年間契約57,600円（税別）

初期費用 **無料**

利用料金（月額相当）

1,500円（税別）

年間契約18,000円（税別）

自社のCO2排出量だけでなく、取引先や関係先も含めたサプライチェーンCO2排出量の集計と可視化に

自社排出量の
登録

自社排出量の
可視化

自社排出量の
提供

他社排出量の
受取

他社排出量の
可視化

データ出力

取引先（プライマリプラン契約者）へCO2排出量を連携、自社のCO2排出量の可視化に

自社排出量の登録

自社排出量の可視化

自社排出量の提供

データ出力

サプライヤー向け セカンダリプラン

詳細条件

ユーザー数

プライマリプラン、セカンダリプラン共に
1ユーザー利用が可能です

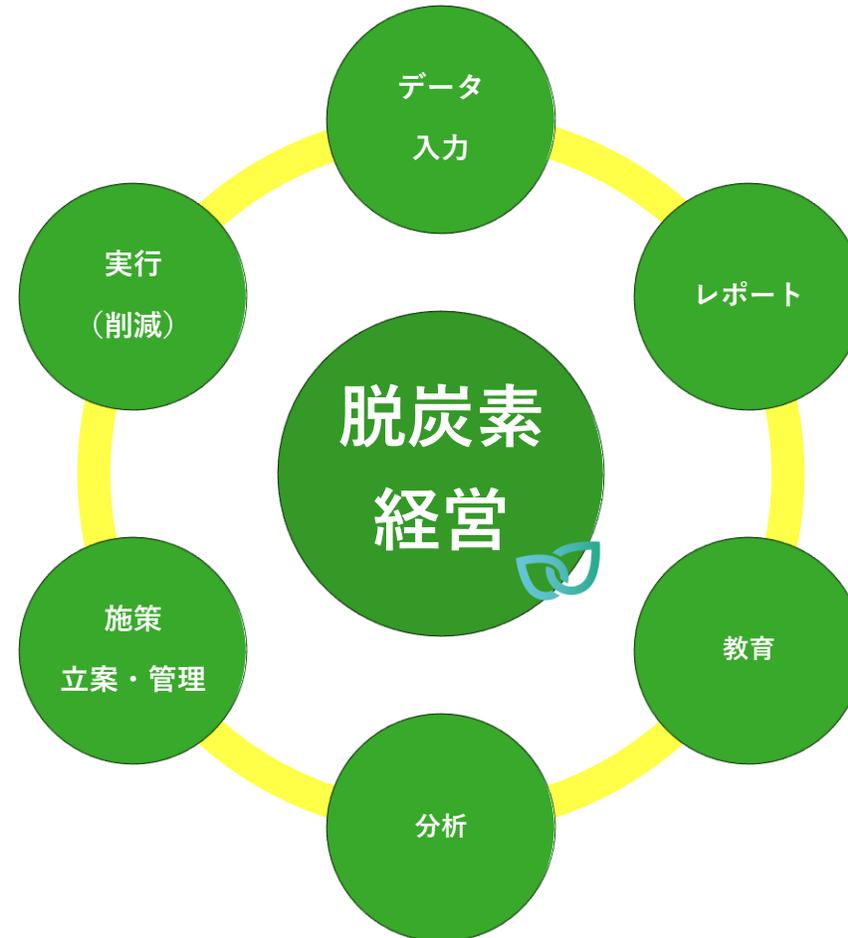
データ件数

5GBが上限です
ストレージを追加するためには別途費用が必要です

データの取扱い

約款の内容をご記載ください

脱炭素経営を1つに。そして手軽に。



【ご参考】EcoNiPassの料金プラン

	区分	サービス名	提供機能	ご提供価格
ベースプラン	プランA	プライマリプラン	データの可視化、受け取り、提供	4,800円/月
	プランB	セカンダリプラン	自社データの可視化、提供	1,500円/月
省エネ法オプション	オプション機能	省エネ法集計オプション	省エネ法集計機能を提供	5,000円/月
製品別可視化オプション	初期費用	CFP初期	CFP算定初期設定費用	100,000円
	オプション機能	CFP 3製品(300万件)	製品設備単位でのCO2排出量算定・可視化 (3品番まで、設備上限なし)	20,000円/月
		CFP 10製品 (1,000万件)	製品設備単位でのCO2排出量算定・可視化 (10品番まで、設備上限なし)	30,000円/月
		CFP 25製品 (2,500万件)	製品設備単位でのCO2排出量算定・可視化 (25品番まで、設備上限なし)	75,000円/月
		CFP 50製品 (50,000万件)	製品設備単位でのCO2排出量算定・可視化 (50品番まで、設備上限なし)	135,000円/月
		CFP 100製品 (1億件)	製品設備単位でのCO2排出量算定・可視化 (100品番まで、設備上限なし) 更に追加する場合、1品番あたり2,400円/月	240,000円/月
支援オプション	コンサルティング	CFP算定オプション導入支援費	CFP算定導入時のマスタ登録支援 (8時間)	100,000円
		SBTi認証取得支援	SBTi認証取得するためのコンサルティング支援	500,000円
	入力代行	企業別_入力代行サービス	過去データの入力代行 (最大3年分)	30,000円
		領収書・請求書データ入力代行サービス	毎月の領収書・請求書のエネルギー使用量を入力代行	99円/枚
		CFP算定オプションマスタ入力代行	CFP算定マスタデータの登録代行	100,000円
ストレージ	オプション機能	データストレージ追加オプション(100万件)	データストレージ (データ総件数でカウント)	3000円/月



免責事項

本資料に含まれる文字、数値、画像、データその他の情報に関して、正確な情報を記載するように努めておりますが、時間の経過により情報が古くなること、技術の進歩及び社会環境の変化等により、必ずしも適切な記載とならない場合があります、本資料内容の正確性および完全性は保証しておりません。

従って、本資料に基づき被ったいかなる損害についても、弊社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。また、本資料の内容は、予告なく変更または廃止する場合がございます。

その他、本資料において、適宜他の情報（URL等のリンクを含みますがこれらに限られません）を参照する場合がございます。この場合につきましても、弊社が管理するものではなく、参照先の真偽等を含め弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

なお、本資料に記載された内容の権利（著作権や肖像権等を含みますがこれらに限られません）は、各権利保有者に帰属します。許諾なき無断転載や販売等の行為は固く禁じております。

サプライチェーンの想いをつなぎ
ともに未来を織りなしていく

EcoNiPass

CO₂排出量可視化プラットフォーム **EcoNiPass**